

宿都 第 69 号  
令和 3 年 5 月 31 日

関係各位

宿毛市長 中平 富宏



## 回 答 書

令和 3 年度 建第 3 号（危）宿毛市津波避難タワー建設工事（旧武道館）に関する質  
疑書について、別紙のとおり回答します。

### 【 担 当 】

宿毛市役所 都市建設課

TEL : 0880-63-1120 FAX : 0880-63-2210

E-mail : kensetu@city.sukumo.lg.jp

工事名：令和3年度 建第3号（危）宿毛市津波避難ター-建設工事（旧武道館）

## 質疑回答書

番号	図面	質疑事項	回答
1	内訳書-8	場所打ちコンクリート杭工事において、工事内訳書では鉄筋数量41.3 tで計上されていますが、鉄筋加工費では103 tにて形状されています。鉄筋数量も103 tが正でしょうか。	鉄筋材数量は103 tが正です。 これに伴い設計書と予定価格を変更します。
2		山留工事について、鋼矢板設置後の基礎掘削時に鋼矢板接手部からの漏水が懸念されるので、止水材を用いた施工をする場合、設計変更の対象になりますか？	地質調査資料より、上層部の透水性は低く、下部においては粘土層にシートパイルが到達しています。 よって、シートパイルにより遮断止水可能で特別なシールは必要ないと考えます。
3	A-04 A-22	塩ビシート防水について、設計内訳書はS-M2、設計図面はS-F2と仕様の相違がありますが、設計内訳書を正と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	設計内訳書S-M2を正とします。